

講義名	心理学研究法		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	蜂屋 真		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	14033

主題と概要

私たちの周りには、乳幼児、児童、青年、成人、老人など様々な人が暮らしているが、心理学にはこれらの人を対象にした、様々な心理学が存在している。これらの心理学は、実験、観察、調査など心理学固有の研究法を用い、数多くの心理現象や行動の法則を見出してきた。
心理学研究法では、実験、観察、調査などの研究法の論理と手順、及び統計的分析の論理と手順を解説する。

到達目標

1. 実験を立案・実施できるようになる。
2. 観察を立案・実施できるようになる。
3. 調査を立案・実施できるようになる。

提出課題

実験、観察、調査に関する3つのレポートを提出してもらおう。

評価の基準

3つのレポートの評価と、授業中の発言によって行う。

履修にあたっての注意・助言他

この授業は双方向性授業であり、教員が60分間講義し、30分間学生と対話する予定である。また、学生が作成したレポートを教材として活用する予定である。なお、教科書は授業に活用するので、教科書を必ず購入しておくこと。

教科書

社会心理学研究法	村田・山田・佐久間	福村出版	3000円

プリント資料及び参考文献

関連資料は授業中に配布する。
心理学研究法 高野・岡著 有斐閣アルマ

授業計画

1. 心理学研究法：心理学の研究対象、研究領域、研究法
2. 科学と実証：相関関係、因果関係、ミルの3原則
3. 実験と観察：実験的研究、観察的研究
4. 実験法（1）：実験とは、実験室実験、現場実験、質問紙実験（p78～p93）
5. 実験法（2）：独立変数の操作、従属変数の測定、剰余変数の統制（p94～p111）
6. 実験法（3）：独立変数の操作、従属変数の測定、剰余変数の統制（p94～p111）
7. 実験法（4）：要因計画、被験者間計画、被験者内計画（p94～p111）
8. 実験法（5）：準実験、単一事例実験
9. 観察法（1）：観察とは、自然観察法、実験観察法
10. 観察法（2）：時間見本法、事象見本法、参加観察法、サンプリング、妥当性・信頼性、観察者のバイアス
11. 調査法（1）：調査とは、全数調査、標本調査、母集団、標本、確率標本、非確率標本（p26～p42）
12. 調査法（2）：調査の流れ、目的の明確化、調査手法・対象者の決定、調査項目の決定、調査票の作成（p44～p62）
13. 調査法（3）：調査の流れ、調査の実施、データの整理、クロス集計、エラーレーション（p63～p76）
14. 統計的分析：記述統計、推測統計、統計的検定（p200～p215）
15. まとめ

予習・復習

授業内容は、授業計画に付された教科書ページ箇所に対応する。予習として授業内容に対応する教科書の箇所を読んでおくこと。復習として教科書を活用し、さらに関連書籍を学習すること。

備考